

## 共謀罪、国連も日本政府の拙速を問題視!!

共謀罪法案（組織犯罪処罰法案改正案）をめぐって自民・公明両党は徹底審議を求める野党の声を無視し、参院でも強行採決で法案を成立させる構えを見せています。しかし、この法案に対しては、国連からも、欠陥を直すため必要な時間をかけるべきだと指摘されています。

### 国連特別報告者のケナタッチ氏

「これだけ拙速に深刻な欠陥のある法案を押し通すことを正当化することは絶対にできません」

「唯一の望みは、プライバシーの権利に着目した保護と救済の制度に注意を払い、法案の中に導入することです」



ケナタッチ特別報告者

## 安倍政権、国連事務総長発言までねじ曲げ!!

国連人権理事会のケナタッチ特別報告者の書簡に関して5月27日、安倍総理とグテーレス国連事務総長が会談しましたが、その発表内容が双方で食い違っています。民進党は国会で政府にその点を追及しましたが、政府は、外交上のやり取りであることを理由に内容を明らかにしませんでした。



グテーレス事務総長

### 日本外務省

「先方（国連事務総長）は、人権理事会の特別報告者は、国連とは別の個人の資格で活動しており、その主張は、必ずしも国連の総意を反映するものではない旨を述べた」

### 国連

「特別報告者について、事務総長は安倍首相に対し、国連人権理事会に直接報告する独立した専門家であると述べた」